

2022年 11月 15日
一般社団法人 電気自動車普及協会
代表理事 田嶋 伸博

<会員・報道機関各位>

「EV×未来社会創造ワークショップ ～ サステナブル・ツーリズムを考える～」を開催いたしました！

EV×未来社会創造ワークショップ第4回「サステナブル・ツーリズムを考える」を以下の通り開催いたしました。

- 日時：2022年 11月 11日（土）～12日（日）
- 場所：日光市役所本庁舎 1階市民ホール・日光行政センター会議室（日光公民館）
- 主催：一般社団法人 電気自動車普及協会（APEV）
共催：東京大学大学院 情報学環・福武ホール、東京大学 生産技術研究所 次世代オフィス（ONG）
協賛：株式会社ベネッセホールディングス
協力：栃木県、日光市、株式会社JTBCコミュニケーションデザイン、東武鉄道、トヨタレンタリース栃木、トヨタ自動車、ベネッセコーポレーション 他
参加者：栃木県立宇都宮東高等学校、東京都立日比谷高等学校、広尾学園高等学校、埼玉県立不動岡高等学校の皆さん



ワークショップの様子

▶ プログラム

■ 1日目

タイムスケジュール	プログラム	担当
10:00	オープニング 今日の流れ説明(10分) ファシリ・ゲスト・参加者の自己紹介(30分) 鈴木先生の全体挨拶(5分)	田中さん
11:00	今回のテーマ 日光という地域の成り立ちと課題（観光とモビリティの視点から） NIKKO MaaSとサステナブルツーリズム Chatで随時質問・コメントを受け付ける	黒岩様
11:30	観光プランの見直し 黒岩さんのインプットを参考に、プランの見直しを行う Chat or 口頭で随時質問・コメントを受け付ける	田中さん
11:50	出発前のお伝え ・お題表示と観光時にしてほしいこと ・注意点 ・事務連絡	田中さん
12:00	日光観光	
18:00	フリーフィング 各グループの気づきをシェア 日光Maas×デマンド交通を利用してどうだったのかの感想のシェア 明日のワークについて予告	田中さん

■ 2日目

タイムスケジュール	プログラム	担当
10:00	オープニング 自己紹介 昨日の振り返り・今日の流れ解説	逆瀬川さん
10:10	講演セッション①（1組15分+質問5分） まちの取り組み	①栃木県 ②日光市
10:50	休憩	
11:00	講演セッション②（1組15分+質問5分） モビリティの取り組み	③東武鉄道（黒岩さん） ④トヨタレンタリース
11:50	解決策を考える① 発表に向けたお題提示 解決策を考える（午後最初に質問タイムを設ける旨を伝える）	逆瀬川さん
12:20	お昼休み&精算	
13:50	解決策を考える② 質問タイム 解決策を修正	逆瀬川さん+ゲスト全員
14:40	発表会 発表（各グループ5分）+ディスカッション（各グループ10分）	逆瀬川さん+ゲスト全員
15:40	振り返り 全体講評（黒岩さん） 振り返りシートに記入 全体共有	逆瀬川さん
15:55	クロージング	山内先生
16:05	各会場を出るところまで見送り後、後片付け	全員

NIKKO MaaSとは



鉄道・バスをセットにしたお得な **デジタルフリーバス** のほか
EV・PHV カーシェアリングやシェアサイクル、EVバス等の **エコモビリティ** と
歴史・文化・観光施設等の **拝観・入場チケット**、アクティビティ等の **体験プログラム** を
スマートフォンから簡単にご購入・ご利用いただくことができるサービスです

1台のスマホでワンストップサービスを実現



お車やデジタルフリーバス



鉄道・バス



エコモビリティ
カーシェア・シェアサイクル・EVバス



観光コンテンツ
拝観・入場チケット
体験プログラム

NIKKO MaaSの取組



NIKKO MaaSでは環境にやさしい
EV・PHV車両を設置



C+pod
BEV（電気自動車）



プリウスPHV
PHV（プラグインハイブリッド車）

▶ ワークショップの様子

今回は、栃木県・日光市のご協力をいただき、日光にて開催いたしました。

1日目の最初に東京大学大学院 学際情報学府 田中さんからの説明からスタートいたしました。

次にAPEV鈴木理事・東京大学生産技術研究所次世代オフィス室長の挨拶のあと、株JTBコミュニケーションデザイン黒岩プロデューサーより今回のテーマ「サステナブル・ツーリズム」と「MaaS」についてご説明をいただきました。続けて事前課題のプランの見直しを行い、田中さんよりツアーの説明がありました。

その後、お昼時間を含めて約6時間、各校の生徒さんが立てたプランに基づいて、実証実験導入の初日であるAIタクシーも利用しながら、日光の観光名所を周っていただきました。戻ってからブリーフィングで各グループの気づきをシェアし、1日目は終了となりました。

2日目は、東京大学大学院 情報学環 逆瀬川さんより昨日の振り返りと当日の流れについて説明がありました。

栃木県 環境森林部 西田様、日光市役所藤巻係長より栃木県・日光市の各取り組み、黒岩様より東武鉄道の取り組み、トヨタレンタリース 生井様・永山様より同社の取り組みについてお話をいただきました。

ご講演内容についての個別の質疑応答を通じて理解を深めたうえで、1日目の体験をもとに課題に着目し、熱のこもった解決策を考えてもらい、発表資料を作成しました。発表資料作成や意見・質疑はgoogle Workspace for Education の jamboardを使って行いました。

上記を経て、各チームごとに日光市の課題解決と環境配慮について短時間でありながらそれぞれ多様で具体的なアイデアにまで落としプレゼンが行われました。発表内容について相互に積極的な質問や意見が出て、大変盛り上がりました。

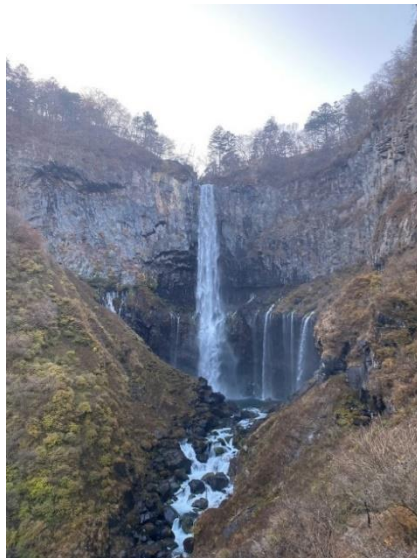
今回テーマにした「NIKKO MaaS」では、環境にやさしいEV/PHVを積極的に活用しており、国内初の他に例を見ない環境配慮型のMaaSとなっています。

最後の講評として、東京大学大学院 情報学環長 山内教授より、今後大学生社会人になった際に今回の経験をどう活かすかについてのアドバイスをいただきました。

開催にあたり、多くの方々にご協力、ご参加をいただきましたこと、心より感謝いたします。特に今回、「EV×未来社会創造ワークショップ」としては4回目ですが、初めて現地での開催が果たせましたこと、ご協力に心より感謝申し上げますと共に、現場・現物に触れることでの教育体験の効果を大きく実感したところです。今後も、若い世代へEVに対する理解促進、次世代人材育成なども推進して参ります。今後ともご支援どうぞよろしくお願いいたします。



NIKKO MaaSサイトより <https://www.tobu-maas.jp/lp>



▲ 高校生撮影の観光名所写真

学生を短期間通訳・案内ボランティアとして各観光地に派遣する

着目した課題

- ・地域の人との関わりが薄くなっている、日光観光対応の人材不足（財源不足）
- ・英語対応、デジタル対応の遅れ、自家用車渋滞

解決策の具体的な内容

- ・外国人観光客が来た際、英語で対応する
- ・デジタル対応を補助する
- ・ボランティアの学生にNIKKOMaaSの提供

学生を短期間通訳・案内ボランティアとして各観光地に派遣する

地域側のメリット

- ・NIKKOMaaSとの連携がうまく取れる
- ・職員の価値観のアップデート
- ・人材不足の改善
- ・マーケティング力の向上
- ・地域経済の活性化(NIKKOMaaS)

学生側のメリット

- ・学生自身も英語を学べる
- ・世界遺産や伝統、歴史が好きな人はとても楽しめる
- ・AO入試や就職活動などの経験に使える
- ・日光をお得に観光することができる (NIKKOMaaS)

▲広尾学園の発表の様子と提案プラン（右）

わくわく！！

アウトドア体験&宿泊プランin奥日光

どんな課題に着目したか

- ・中禅寺湖方面の宿泊を伴う観光客が少ない。
→お金を落としてくれない、、、
- ・自然観光+aがない。
→自然を見て終わりじゃもったいない！！
- ・日光MasSのチケットが少し使いにくい
(提示制だと駅に行列ができてしまう可能性がある)

ターゲット

アウトドアに関心がある若者（20代～30代）

解決策の具体的な内容

○日光Maasにアウトドア&宿泊プランチケット（観光チケット）を追加する

- ・中禅寺湖周りの観光スポットを一気に回ることができる
- ・体験コースで自然が楽しめる〈ボート、サイクリング〉
- ・宿泊についても、キャンプやグランピング（宿泊）のチケットをセットで
or「〇〇のキャンプ場を利用して特典〇〇」などのように利用を促進する特典をつける

●チケットをバーコード式にする

環境負荷を抑える工夫

- ・グランピングやキャンプの用品を貸し出す
→荷物が減るため公共交通機関の利用へ

Nikko MaaSの活用方法

- ・宿泊チケットを取り入れる
→確実に宿泊を伴う観光客を集客できる



▲不動岡高校の発表の様子と提案プラン（左）

アウトドア体験&宿泊プランin奥日光

どんな課題に
着目したか

- 中禅寺湖方面の宿泊を伴う観光客が少ない。
→お金を落としてくれない、...
- 自然観光+αがない。
→自然を見て終わりじゃもったいない!!
- 日光MasSのチケットが少し使いにくい
(提示制だと駅に行行列ができてしまう可能性がある)

ターゲット

アウトドアに関心がある若者 (20代~30代)

解決策の具体的な内容

○日光MasSにアウトドア&宿泊プランチケット(観光チケット)を追加する

- 中禅寺湖周りの観光スポットを一気に回ることができる
- 体験コースで自然が楽しめる<ボート、サイクリング>
- 宿泊についても、キャンプやグランピング(宿泊)のチケットをセットで
or「〇〇のキャンプ場を利用して特典〇〇」などのように利用を促進する特典をつける

●チケットをバーコード式にする

環境負荷を抑える工夫

- グランピングやキャンプの用品を貸し出す
→荷物が減るため公共交通機関の利用へ

Nikko MaaSの活用方法

- 宿泊チケットを取り入れる
→確実に宿泊を伴う観光客を集客できる



▲日比谷高校の発表の様子と提案プラン(左)



▲宇都宮東高校の発表の様子と提案プラン(右)

タイトル

春夏秋冬の観光で日光の魅力新発見

どんな課題に
着目したか

奥日光など「自然」を主要な観光資源としている地域では、季節によって魅力が異なっているので、目的の季節(秋)以外に観光客があまり訪れない
東照宮or秋の日光以外の魅力を知らない

なぜ徒歩観光なのか?

車観光や公共交通機関を利用した観光の場合、行きたい場所にピンポイントで行き、観光するため、観光地から少し離れたところにある店に目が向きにくい。

→メインの観光地だけでなく、周辺にある魅力を観光客が見つけられるようになる

→観光地全体の利益が上がる

→近年の健康志向



本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 電気自動車普及協会 (APEV) 事務局

〒113-0033 文京区本郷7-3-1

東京大学 情報学環・福武ホール

TEL: 050-3375-4937 FAX: 050-3153-2686

E-mail: info@apev.jp

Visit our website: <http://www.apev.jp/>